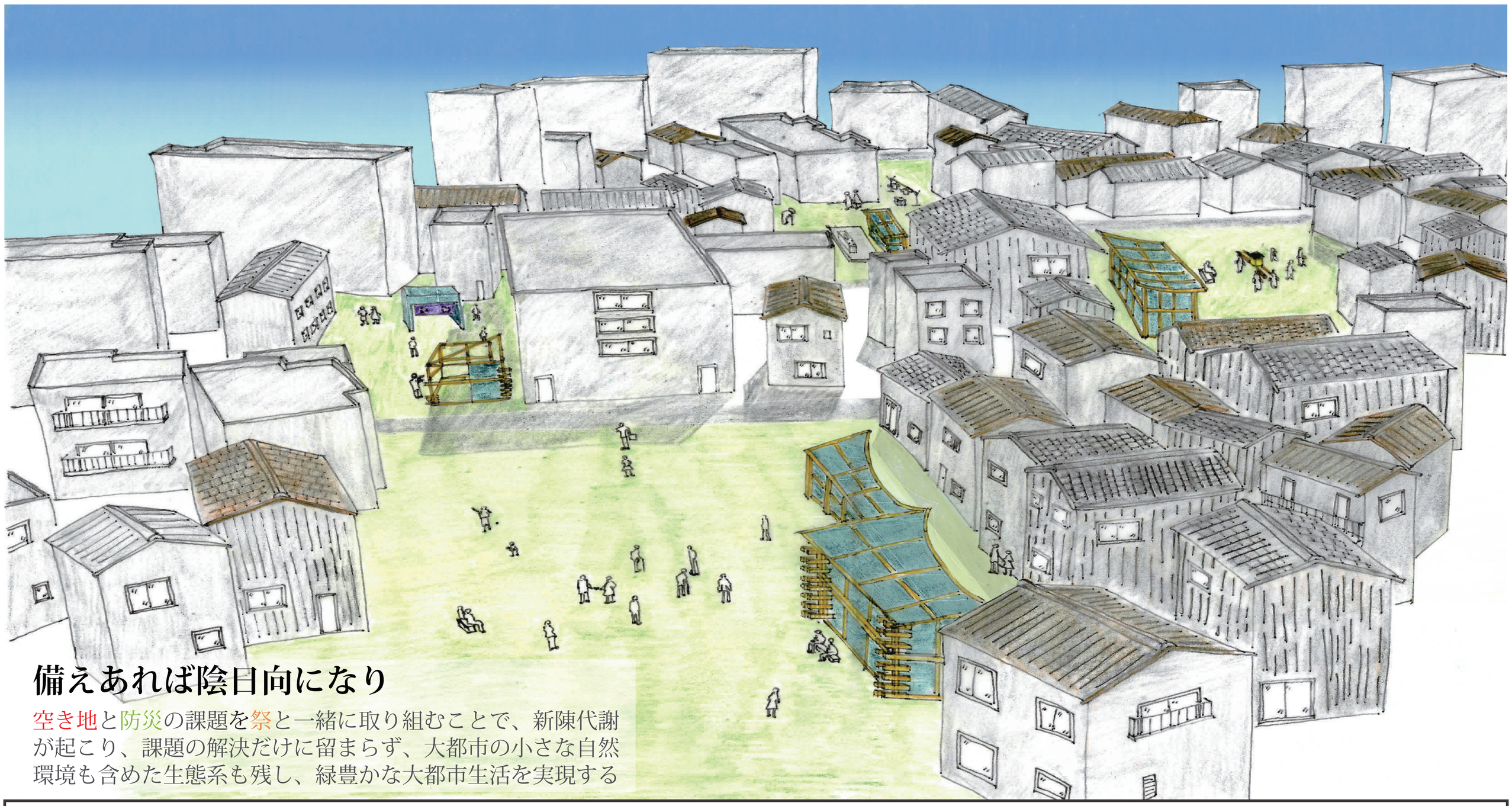


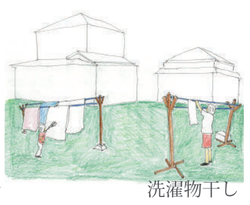
備えあれば陰日向になり

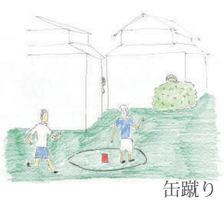
空き地と防災の課題を祭と一緒に取り組むことで、新陳代謝が起こり、課題の解決だけに留まらず、大都市の小さな自然環境も含めた生態系も残し、緑豊かな大都市生活を実現する

background: 空き地と祭と防災の関係

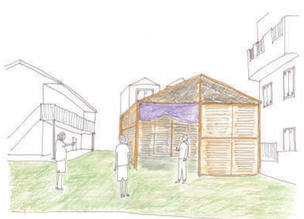
日本では大都市においても空き地は生活の場として使われ、祭の練習の場として使われる。そして祭の時は神酒所や櫓を建てる場所としても使われる。また、災害時は仮避難所としても使われる。

キャッチボール


洗濯物干し

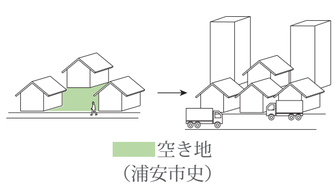

缶蹴り

普段の空き地


祭りの時、神酒所ができる

problem: 大都市での新築信仰と帰宅困難者

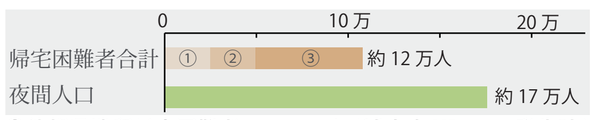
①経済低迷期にもかかわらず、空き地に新築を建てる→神酒所の減少につながる


空き地
（浦安市史）

1972 年空き地平均面積 約 500 ㎡

2016 年空き地平均面積 約 100 ㎡

②災害時一時避難せず、無理に帰ろうとして交通麻痺を起こす



①他都県滞留帰宅困難者：22,607 人（浦安市 HP 3.11 発生時）
②市内の帰宅困難者：21,761 人（浦安市 HP 3.11 発生時）
③TDR での帰宅困難者：約 7 万人（浦安市 HP 3.11 発生時）
*TDR: 東京ディズニーリゾート

帰宅困難者で溢れる

concept: 備えあれば陰日向になり

祭りのために作るインフラが、
空き地の日常的な生活の場を残し災害時の手助となる
祭りも防災も備えあれば陰日向になり
人が楽しく生きていくための命懸けの式年遷宮

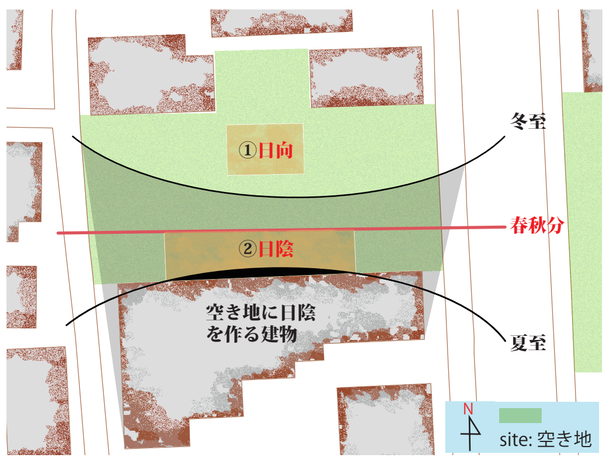
site: 千葉県浦安市猫実の空き地全て

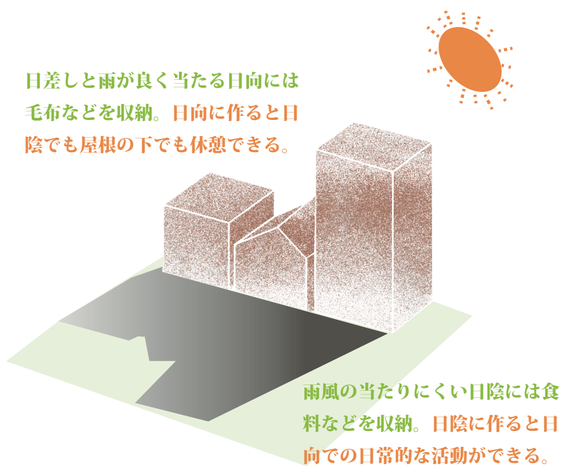
浦安全体図

課題
空き地：メンテナンスされてない荒地
祭り：空き地減少による存続の危機・高齢化
防災：避難経路が不明快・災害時帰宅困難者
* 災害時とは、主に地震と台風を考えている。
* 旧市街地の猫実は液状化の被害は見られない

design

空き地に屋根をかける。空き地の日影曲線（春秋分から夏至）の日照条件を用いて、日向か日陰の2パターンから平面形態・屋根形態を決定する。主な素材は、神酒所に使われるすだれ・竹・木材
①日向：日影曲線に入らず均等に日照が得られる矩形の平面　倉庫・寝床・水道水タンク（トイレ）
②日陰：日影曲線の中（春秋分から夏至）の日影に沿う平面　倉庫・寝床・水道水タンク（シェアキッチン）





日常　平面図

program: 祭り × 防災の新陳代謝　空き地に機能を持たせる休憩所

祭り

近代化と高齢化によるメンテナンス不足

防災

街中に帰宅困難者が溢れる

空き地に余白をつくる

日常的に祭りの練習する場の確保

日常的な避難経路の確保

神酒所保管場所不足　ベッド・トイレ不足

一時避難所として神酒所の倉庫を作る

神酒所の倉庫として作る屋根と床が、雨風を凌ぎ、暖をとることが可能

寝床・食料・トイレ・水道水を提供
ボイドとして密集地の火事の拡大を防止

倉庫の屋根と壁が徐々に解体される

祭りが近づくにつれて神酒所を作る技術・解体の技術の継承

子供の遊び場・高齢者の休憩スペースとなり、地域の繋がりの継承

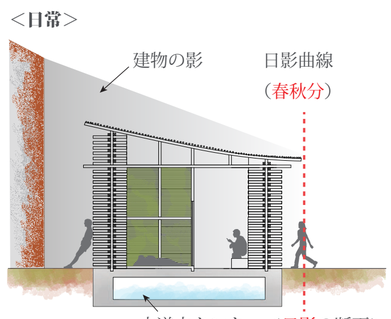
トイレ不足

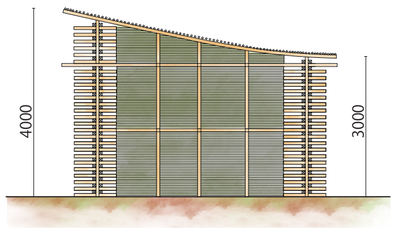
神酒所にも機能がつく

トイレ・食料庫のインフラ機能を残し、祭りの時のトイレ不足を解決

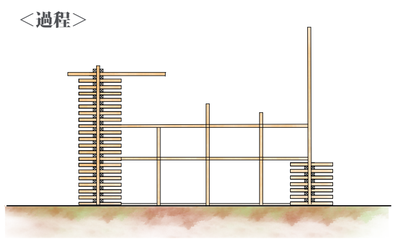
祭りの時、神酒所が防災拠点となり、災害時の食料不足などの大混乱の緩和

祭りが来る度繰り返される式年遷宮
日常的に自主的にメンテナンスされる

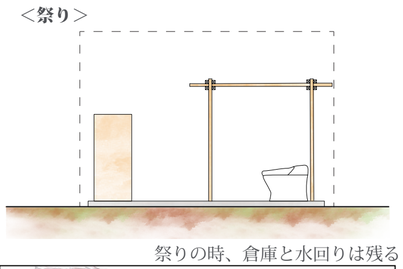




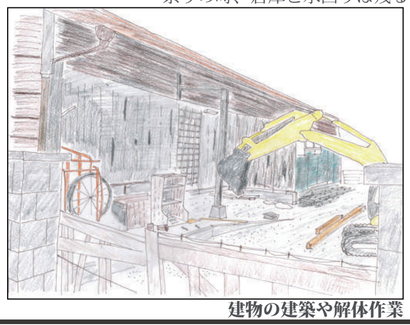
徐々に構造が作り直される　神酒所を作る材が剥ぎ取られる

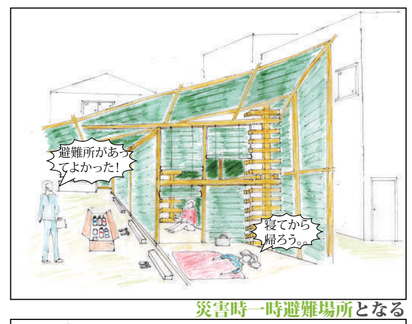


神酒所から、すだれ・木・竹　構造がなくなりインフラが残る

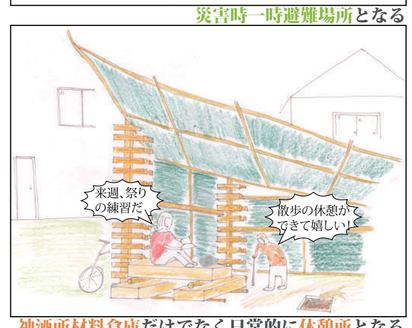


祭りの時、倉庫と水回りは残る


建物の建築や解体作業



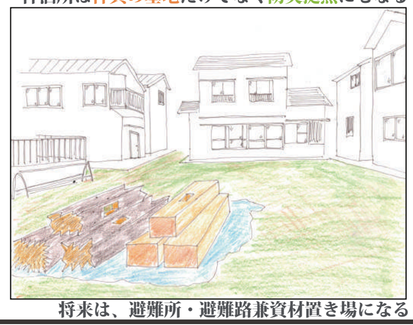
災害時一時避難場所となる



神酒所材料倉庫だけでなく日常的に休憩所となる

インフラ以外休憩所は段々解体されて神酒所になる

神酒所は神輿の基地だけでなく防災拠点にもなる


将来は、避難所・避難路兼資材置き場になる

将来の街区整理は空き地を中心に行われる。空き地には建築されることが少なくなる。被災した空き家の改築を促し、解体した材を一時的に置く場としても使われ、既存の環境は壊すことはなくなる。そして猫やミミズなどの動物や蘆やヨモギなどの植物の生物多様性を保持できる。